

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(10歳代女性)ありました。症状は腹痛、水様性下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群(HUS)です。感染地域は国内、感染経路は経口(羊の生レバー、ユッケの生センマイ)です。本年の累積報告数は4例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は発熱、肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は水系です。本年の累積報告数は6例となりました。
レジオネラ症(肺炎型)は土壌や水環境に普通に存在するレジオネラ属菌がヒトに吸引されて感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。レジオネラ属菌は、冷却塔、給湯系などの人工環境にアメーバを宿主として増殖するため、エアロゾルを発生させるジャグジー、加湿器及び循環水を利用した風呂等は感染の機会を増やすおそれがあり、注意が必要です。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は発熱、全身倦怠感、菌血症、関節痛です。本年の累積報告数は29例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は鼠径部リンパ節腫脹です。感染経路は国内で、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は20例となりました。
梅毒は早期の薬物治療で完治できますが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置すると、脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。感染予防のために、性行為時にはコンドーム等を適切に使用しましょう。性器や口腔周囲に異変を感じたら、性行為を控え、速やかに医療機関に相談し、早期発見・早期治療することが重要です。
- ・ **百日咳**の報告が2例(10歳未満及び20歳代女性)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は24例となりました。
- ・ **伝染性紅斑**の定点当たり報告数は、京都市が0.84、全国が0.58でした。現在のところ大きな流行とは言えないものの、京都市及び全国で過去5年平均を上回る状態が続いており、動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎(ロタウイルス)>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、8.05(346例)であり、過去5年間の平均を少し上回る傾向が第12週以降続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者2例)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 85例(肺結核 33例, その他結核 19例, 潜在性結核感染者 33例)うち喀痰塗抹陽性 19例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 29例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- ・ 五類: 百日咳 2例【1月以降の累積報告数 24例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

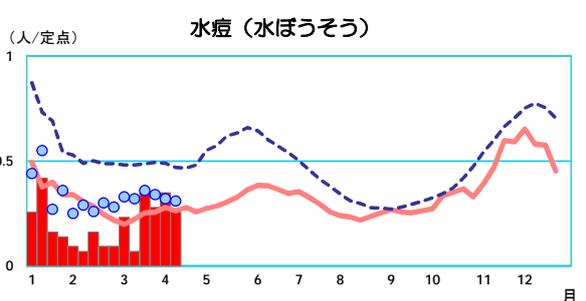
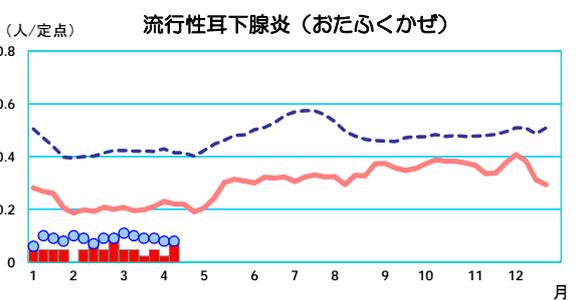
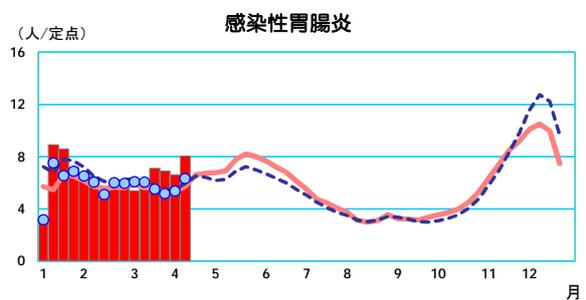
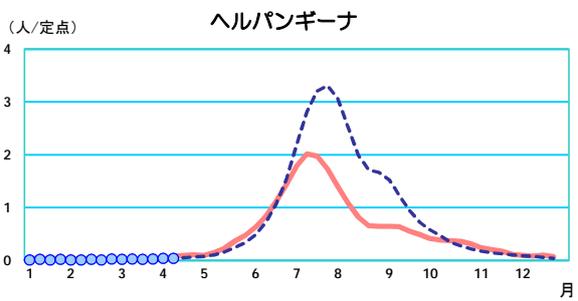
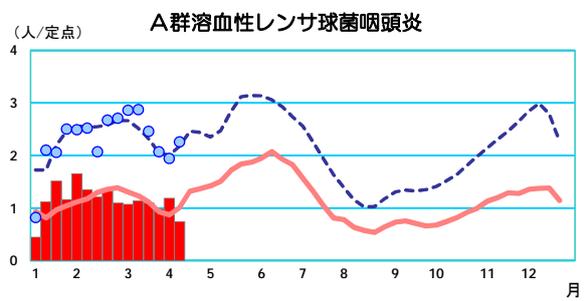
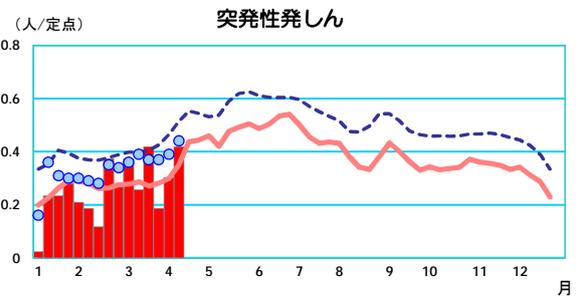
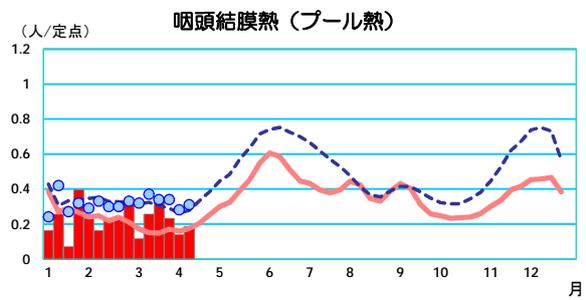
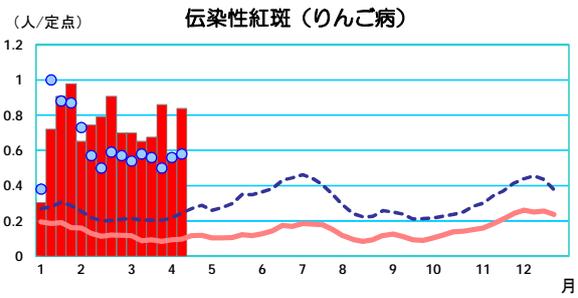
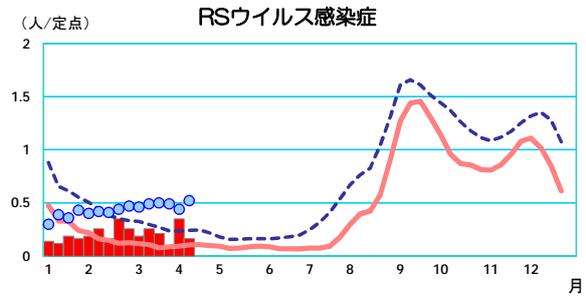
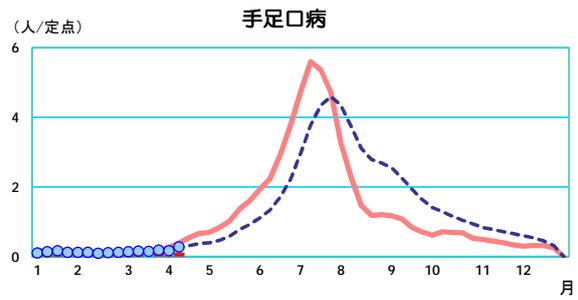
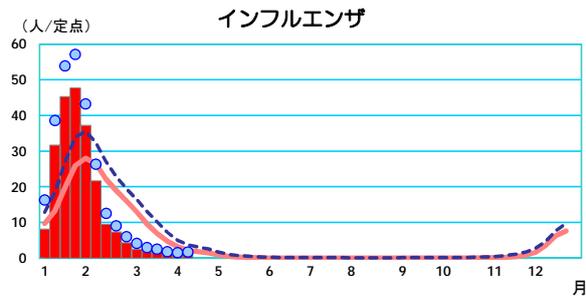
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.06	73
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.05	346
	② 伝染性紅斑	0.84	36
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	32
	④ 突発性発しん	0.42	18
	⑤ 水痘	0.26	11
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎(ロタウイルス)>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年4月17日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第15週(4月8日～4月14日)トピックス: <感染性胃腸炎(ロタウイルス)>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、8.05(346例)であり、過去5年間の平均を少し上回る傾向が第12週以降続いています(図1)。

感染性胃腸炎は、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称で、原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、主な症状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎のうち、原因がロタウイルスと判明した報告を別途集計しています。そこで、ここ5年の全国の報告数の推移を見ると、3週～5週に増加し始め、13週～19週にピークを迎える傾向がみられます(図2)。

本年も、原因がロタウイルスと判明した感染性胃腸炎の全国報告数は例年どおりの傾向を示し、今週は299例の報告がありました。年齢階級別割合を見ると、全ての週で1歳から4歳の報告が最も多く、0歳をあわせると4歳以下でおおむね6～8割を占めています(図3)。

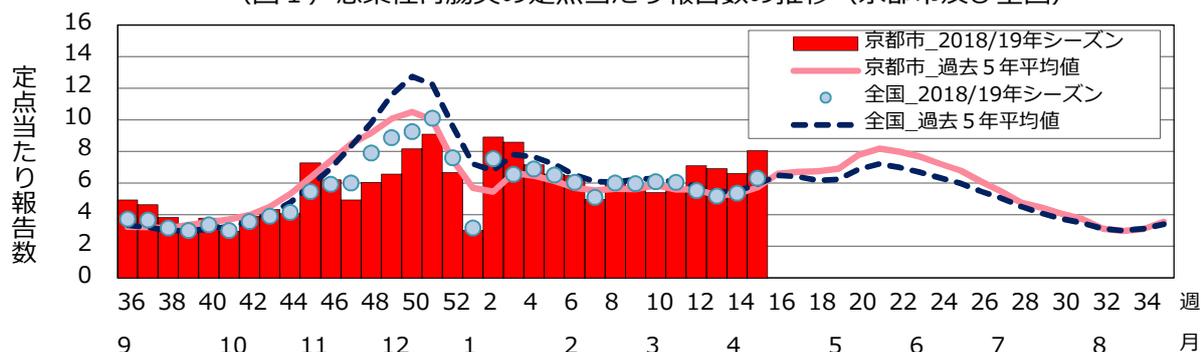
ロタウイルス感染症は、乳幼児の嘔吐・下痢症の一つであり、生後6箇月頃から2歳頃に多く発症します。就学前の子どもの約半数が、一度はロタウイルス感染症で小児科外来を受診するとも言われています。

ロタウイルスは感染力が非常に強く、保育所や幼稚園で、集団発生を引き起こす原因となります。感染対策はノロウイルスと同じです。突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム溶液)を準備し、マスクや手袋を含む嘔吐物処理セットの使用手順などを再確認しておきましょう。また、任意接種のワクチンがあります。生後6週から接種でき、ワクチンの種類によって2回又は3回接種します。

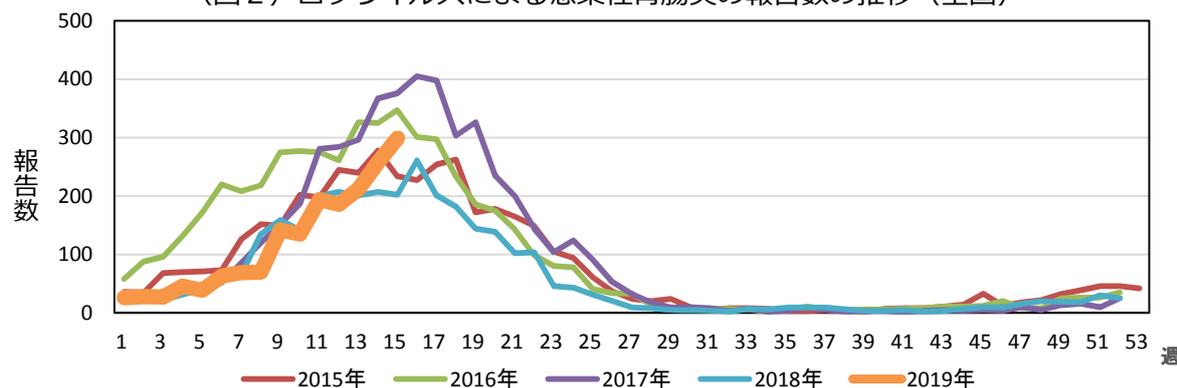
京都市衛生環境研究所では、ロタウイルス感染症のポスターやリーフレットを作製しています。下記URLを御参照ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

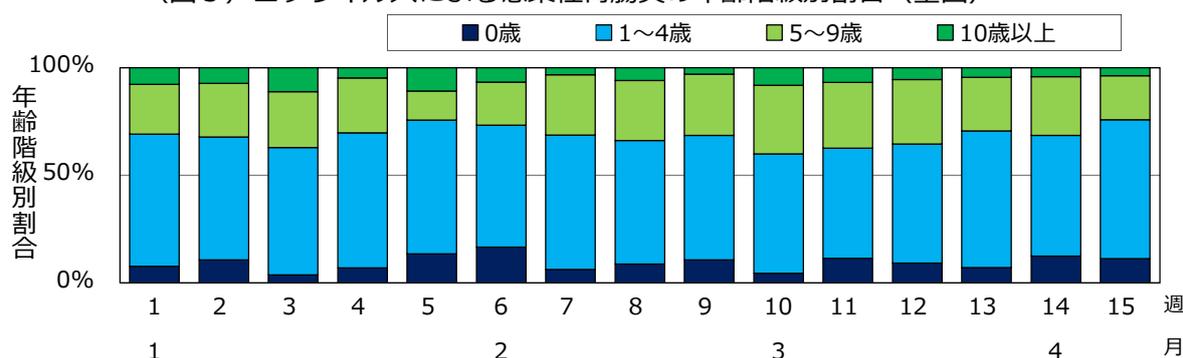
(図1) 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移(京都市及び全国)



(図2) ロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数の推移(全国)



(図3) ロタウイルスによる感染性胃腸炎の年齢階級別割合(全国)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第15週

疾病,行政区別報告数

2019年4月8日～2019年4月14日

データ入手日:2019年4月17日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	3	1	-	1	8	-	-	-	1	-	-	-	-					
上京	7	1	-	1	6	1	-	1	2	-	-	-	-					
左京	15	1	1	5	50	2	-	7	4	-	-	-	-					
中京	3	1	1	1	18	-	-	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	4	1	-	-	24	-	-	-	1	-	-							
山科	14	-	-	2	13	-	2	3	5	-	1	-	1					
下京	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-							
南	10	-	1	2	30	2	-	-	-	2	-							
右京	5	-	4	10	52	-	-	12	-	-	-	-	1					
伏見	6	1	-	9	122	1	1	7	3	-	1	-	-					
西京	4	1	1	1	22	5	2	2	-	-	-	-	-					
京都市計	73	7	8	32	346	11	5	36	18	3	3	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.43	0.25	-	0.25	2.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
上京	1.40	0.33	-	0.33	2.00	0.33	-	0.33	0.67	-	-	-	-					
左京	2.14	0.25	0.25	1.25	12.50	0.50	-	1.75	1.00	-	-	-	-					
中京	0.60	0.33	0.33	0.33	6.00	-	-	1.33	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	0.50	-	-	12.00	-	-	-	0.50	-	-							
山科	2.00	-	-	0.40	2.60	-	0.40	0.60	1.00	-	0.20	-	1.00					
下京	0.67	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-							
南	2.00	-	0.33	0.67	10.00	0.67	-	-	-	0.67	-							
右京	0.63	-	0.80	2.00	10.40	-	-	2.40	-	-	-	-	1.00					
伏見	0.55	0.14	-	1.29	17.43	0.14	0.14	1.00	0.43	-	0.14	-	-					
西京	0.50	0.20	0.20	0.20	4.40	1.00	0.40	0.40	-	-	-	-	-					
京都市計	1.06	0.16	0.19	0.74	8.05	0.26	0.12	0.84	0.42	0.07	0.07	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第15週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年4月8日～2019年4月14日

データ入手日:2019年4月17日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	73	-	-	-	4	6	-	7	4	5	1	5	5	6	8	9	2	3	6	1	1
RSウイルス感染症	年齢3	7	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		32	-	2	4	1	7	4	2	1	3	3	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		346	5	32	58	47	53	38	23	14	13	12	8	21	2	20	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	2	-	-	-	2	-	1	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		5	-	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		36	-	-	5	-	4	7	7	2	4	1	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		18	-	5	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.06	-	-	-	0.06	0.09	-	0.10	0.06	0.07	0.01	0.07	0.07	0.09	0.12	0.13	0.03	0.04	0.09	0.01	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.16	-	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.19	-	-	0.14	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.74	-	0.05	0.09	0.02	0.16	0.09	0.05	0.02	0.07	0.07	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.05	0.12	0.74	1.35	1.09	1.23	0.88	0.53	0.33	0.30	0.28	0.19	0.49	0.05	0.47	-	-	-	-	-	-
水痘		0.26	-	0.05	-	-	-	0.05	-	0.02	0.09	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.12	-	-	0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.84	-	-	0.12	-	0.09	0.16	0.16	0.05	0.09	0.02	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.42	-	0.12	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.20	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第15週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年4月17日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	160	122	123	81	62	73
RSウイルス感染症	8	11	9	4	15	7
咽頭結膜熱	5	11	14	10	6	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	49	47	42	51	32
感染性胃腸炎	232	238	305	297	284	346
水痘	10	3	15	12	15	11
手足口病	3	5	-	8	1	5
伝染性紅斑	30	28	29	37	25	36
突発性発しん	16	11	18	8	13	18
ヘルパンギーナ	3	1	-	-	1	3
流行性耳下腺炎	2	2	1	2	1	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	1	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	516	481	561	501	475	544

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2.32	1.77	1.78	1.17	0.90	1.06
RSウイルス感染症	0.19	0.26	0.21	0.09	0.35	0.16
咽頭結膜熱	0.12	0.26	0.33	0.23	0.14	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	1.14	1.09	0.98	1.19	0.74
感染性胃腸炎	5.40	5.53	7.09	6.91	6.60	8.05
水痘	0.23	0.07	0.35	0.28	0.35	0.26
手足口病	0.07	0.12	-	0.19	0.02	0.12
伝染性紅斑	0.70	0.65	0.67	0.86	0.58	0.84
突発性発しん	0.37	0.26	0.42	0.19	0.30	0.42
ヘルパンギーナ	0.07	0.02	-	-	0.02	0.07
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.02	0.05	0.02	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	0.10	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.67	10.12	11.97	10.94	10.58	12.16

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。